



「大好きな気持ちが伝わってくるね」と話していました。

詩からアートへ。ともに生きる。

第24回 NHK ハート展

5月16日(休)から28日(休)まで学びの杜ののいち カレードにてNHKハート展が開催されました。障害のある人がつづった詩と、それをもとに各界の著名人やアーティストが制作した写真やイラストなどのアート作品を展示する展覧会。野々市は全国11カ所を巡る内の2カ所目です。3,205編の詩から選ばれた50編の詩は、日常を切り取ったものや感情の機微を表現したものなど様々。来場者は作詩者の日常や心情に思いをはせながら鑑賞している様子でした。

みんなが住みやすいまちを目指して

商業施設等バリアフリー化支援補助金 第1号決定

4月に創設した「野々市市商業施設等バリアフリー化支援補助金制度」の交付決定第1号として、北陸信用金庫野々市支店が対象施設となり、5月22日(休)に栗市長より交付決定通知書と掲示プレートが授与されました。この補助制度は、法令上の義務の対象外である床面積千㎡未満の小規模商業施設などでも、自主的にバリアフリー化を行った場合、整備費用の一部を補助するもの。野々市流の「おもてなし」を目指して、人に優しく市民に親しまれる施設づくりを応援します。



補助対象施設にはプレート(適合証)が掲示されます



研修後には修了証書が授与されました。

隣り合わせの87%

災害ボランティアコーディネーター養成研修会

6月8日(土)、9日(日)の両日、富奥防災コミュニティセンターで災害ボランティアコーディネーター養成研修会が開催され、市内外から27人が参加しました。災害時には被災地復旧の大きな力となるボランティア。彼らを円滑に導き、的確に被災者ニーズとつなぐコーディネーター(調整役)がとても重要です。未曾有の災害とされる東海地震は、30年以内に87%の確率で起こると言われます。すぐ隣りにある災害に、参加者は一様に真剣な眼差しで講義に聞き入っていました。

音楽がつなぐ支援の輪

ふくしまっ子チャレンジスクールチャリティライブ

福島県や周辺子どもたちを対象に保養キャンプを県内で行っているボランティア団体、ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会が、6月1日(土)に三納の常観寺でチャリティライブを開催しました。約100人が参加し、ギターやウクレレの演奏と歌を楽しみました。

実行委員会代表である下林の岩井さんは、「福島子ども達は依然としてストレスの多い生活を送っている。思いっきり遊びリフレッシュできるように活動を続けていきたい」と語り、協力を呼びかけました。



ギター歌手の十輝さんと、ウクレレ奏者の中村さんが出演

まちな話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

まちを盛り上げる「みんなの学び舎」の校歌をつくろう！

トーク&ミニライブそしてカレー

「みんなの学び舎」をテーマにした場所、1の1 NONOICHIの校歌を考えるイベントが5月19日(日)に開催されました。校歌はなんとラップ調で、市出身者2人のラップデュオ YOCO ORGAN が作成。(株)チャンピオンカレー代表のミナミさん、そして1の1 NONOICHIを運営するおまめ舎代表の久木さんが対談し、来場者と共に歌詞に使うキーワードを考えました。「ラップは自分のまちを自慢することが多く、地域的な結びつきが反映される。学校の校歌もまちのいい所や地名が歌詞に入るので通じるところがある」と指摘。ラップのリズムで野々市がどう表現されるか、完成に期待が高まります。



①ののいちっ子ならではの地元トークが盛り上げられました②会場の様子③「給食」はもちろんカツカレー④YOCO ORGANのミニライブ。この日の衣装は学生服。



子どもたちの「花にも命があるんだ」という言葉が印象的でした。

育もう 思いやりの心

人権の花運動

5月30日(休)に、富陽小学校の4年生179人を対象に「人権の花運動」を行いました。花を育てることで子どもたちが、命の尊さや友達と協力することの大切さを知り、思いやりの心を育んでもらうことを目的に開催しています。人権擁護委員7人が学校を訪れ、人権の話や絵本の読み聞かせを行った後、色とりどりの花苗を贈呈。児童代表の川嶋れみさんと坂戸嵩典さんが「今まで意識してなかった人権がわかった。人権の花を育てながら人権を大切にしたい心も育てていきたいです。」とお礼の言葉を述べました。

れいわもめいわへ行こう！

令和元年度 第1回めいわ市

6月7日(金)、県立明和特別支援学校でめいわ市が開催されました。あいにくの雨天にもかかわらず、午前11時の開場前から長蛇の列ができ、約130人の来場者でにぎわいました。ジャムや焼き菓子、布・木工製品など、生徒が労を惜しまず丁寧に作りあげた『めいわ印』の良品が所狭しと並び、買い物かごを山盛りにしたお客さんで溢れかえりました。生徒の生き生きとした笑顔が印象的で、活気のある市となりました。めいわ市は、これからも地域とともに成長していきます。



元気に呼びこみをする生徒。次回の開催が待ち遠しいですね。